

4. 予算および主要課題

歳 出

事業名	平成12年度予算
運営費	22,728
養鱒事業費	61,829
調査指導費	5,296
(湖産仕立てアユの放流効果実証試験費)	(1,900)
(バイオテクノロジー応用技術開発に関する研究費)	(1,616)
(アマゴ、イワナ等の増養殖技術開発研究費)	(1,100)
(普及指導費)	(680)
人件費	57,617
計	147,470千円

歳 入

事業名	平成12年度予算	平成12年度決算
使用量及び手数料	18,696,000	14,032,530
財産収入	40,774,000	49,109,662
国庫支出金	1,100,000	808,000
雑入		9,277
計	60,570,000	63,959,469千円

平成12年度主要事業一覧表

事業名	事業概要
湖産仕立てアユの放流効果実証試験	これまでの試験により長期エリ仕立てアユ種苗については適正な放流方法をとることにより釣果の良い結果が得られることを確認したので、短期エリ仕立てアユ種苗についての適正な放流方法を検討する。 1. 放流効果試験 2. 放流状況実態調査
バイオテクノロジー応用技術開発に関する研究	これまで開発されてきたバイオテクノロジー技術と問題点をマニュアル化し、事業レベルで持続可能な簡素化されたバイテク応用育種システムの確立を図る。 1. バイテク魚の特性評価 2. バイテク手法のマニュアル化 3. 育種システムの整備
アマゴ、イワナ等の増養殖技術開発研究	河川特性にあった在来マス放流技術の開発や河川の生産力の持続的な利用が可能な遊漁制度の導入などの増殖手法を検討し河川漁業の経営基盤の強化を図る。 1. 河川の高度利用放流試験 2. 養殖効率化試験
研修事業	環境立地条件と「さかな学習館」を利用し、青少年や一般社会人を対象とした研修を通じて知識の向上を図るとともに理科教育や社会教育の場を提供する。
養鱒事業	ニジマス等の種卵・種苗の生産供給事業を委託し、内水面の円滑な推進を図る。 供給目標：種卵 4400 千粒 種苗 1410 千尾
養鱒場観光活性化事業(運営費)	平成10年より実施してきた観光キャンペーンを継続する。